

自衛官の誇り、魅力を生徒に伝える 中学校の職業講話に参加



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）高田地域事務所（所長 2陸尉 古川敏廣）は、11月19日（木）上越市立名立中学校（上越市名立区）で実施された「プロに学ぶ～職業人講話～」と題されるキャリア教育において講話を行いました。これは、同校の全校生徒49名を対象に様々な業界から講師を招き、それぞれの職業に関する専門知識に触れさせることを目的としたもので、当日は5つの職種から講師が集まり、自衛隊からは高田所長と松田陸曹長が参加し、自衛隊に興味のある生徒11名に対し説明及び質疑応答を行いました。

講話では、自衛隊の任務の説明から始まり、特に災害派遣活動をメインに、東日本大震災等の災害時における救助活動や生活支援等の行動を、松田陸曹長自身の活動経験を振り返りながら分かり易く説明しました。

その後の質疑応答で生徒から「自衛官の魅力や誇りは何か」「仕事を行う上で私生活において気をつけていることは」などの質問が寄せられると、松田陸曹長は「国民の生命と財産を守る国防というスケールの大きい仕事に就けることが最大の魅力であり、真に人々の役に立てることが誇りです」「仕事はメリハリが大事で、やる時はとことんやる、休む時は休む。仕事と同様に自分や家族も大事にしている」と回答しました。

参加した生徒からは「自衛官から直に話を聞く機会は初めてで、災害派遣などとても貴重な話を聞いて良かった。人を救うために訓練する自衛隊は素晴らしい仕事だと思った」「自衛隊は訓練ばかりというイメージだったが、祭やマラソン大会など地域行事の支援もたくさん行っていることを初めて知った」「語学の教育を受けることもでき、世界中で活躍できる仕事だと思った。自分も自衛官になってみたいと思った」など、様々な声を聞くことができ、生徒たちの自衛隊に対する理解、興味がより深まる有意義な講話となりました。

新潟地本は、今後も各学校の職業講話に積極的に参加し、未来ある若者に自衛隊をより知っていただくとともに、世界中のあらゆる場で活躍できる自衛官という職業に興味を持っていただけるよう、広報業務に邁進していきます。